



小中一貫校 南アルプス市立大明小学校 学校だより

千載不朽

令和7年4月15日 NO.1

校長 松田 晃一

令和8年度スタート！



大明小学校に139回目の春が訪れました。4月6日には新任式と始業式、7日には入学式を行い、新入生54名を迎えました。令和8年度の大明小学校は全校児童333人でのスタートとなりました。

新年度を迎えた子供たちの様子を見てみると、新たな学校生活へのやる気と期待が伝わってきます。本校は、令和5年度から小中一貫校となり今年度で4年目を迎えます。本校の長い歴史の上に、子供たちとともに新たな伝統を積み重ねていきたいと、思いを新たにしましたところ です。

「伝統」は、もともと仏教用語で「伝燈」と書いていたそうです。燈（あかり・ともしび）を絶やさないようにするためには、新しい油を注ぎ続けなければなりません。油を絶やすと燈は消えてしまいます。つまり「油断」をすると、伝統の炎を消してしまいます。

児童、教職員、保護者、地域が一つになって、大明小学校の伝統に油を注ぎ続け、さらに発展していけるようがんばっていきたくと思います。子供たちの健やかな成長のために、教職員一同、指導の充実に努めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様方のご支援、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



【大明小学校学校教育目標】

「自ら考え 活動する 心豊かな子ども」

【めざす子ども像】

- 知：課題に気づき、解決し表現できる子ども
- 徳：自分や友達のよさや違いに気づき、認め合う子ども
- 体：運動に親しみ、自分の体や健康に関心を持つ子ども

【めざす学校像】

- ・身につけるべき力をつけ、学ぶ意欲と楽しさを実感できる授業をする学校
- ・子どもの自己肯定感・存在感を高め、主体的に取り組む力を育成する学校
- ・子どもが安心して学べ、保護者や地域から信頼される学校

学校だよりのタイトル「千載不朽（せんざいふきゅう）」は、本校の教育に尽力された松田深敏先生の「頌徳之碑」（特別棟南側に建立）に刻まれている言葉からいただいています。「いつまでも朽ちることなく、その価値を失わず、永遠に向上心を持ち続ける」という意味が込められています。

「チーム担任制」について

本校では、今年度より「チーム担任制」を進めています。これは、これまでのように1人の担任だけでなく、複数の教師で子供たちを見守る仕組みです。

3, 4年生では学年内の「教科担任制」、5, 6年生では専科教員を含めた「教科担任制」と担任2人による「担任ローテーション制」を実施します。本校では、5, 6年生で実施する「教科担任制」と「担任ローテーション制」を合わせた仕組みを「チーム担任制」と呼ぶこととします。

子供たちは、さまざまな先生と関わることで安心感が高まり、自分に合った先生に相談しやすくなります。また、教師同士が情報を共有することで、より丁寧に子供たちを支えることができます。

学習は、教科により担当する教師が行い、朝や帰りの会は、ローテーションにより担当の教師が受け持ちます。学年の教師がチームとなって、日常的に子供たちの様子を共有しながら指導にあたります。なお、各学級には「担当教員（窓口）」を決めております。保護者の皆様からのご相談は、これまでと同様に行っていただけます。場合によっては、担当教員以外へ相談していただいても差し支えありません。

「チーム担任制」は、子供たちをよりよく育てるための取組です。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【学校での過ごし方（大まかな流れ）】

- 朝の会・帰りの会 → その週の担任が担当
- 授業 → 教科により担当の先生が行う
- 休み時間 → 学年の先生みんなで見守り
- 放課後 → 先生同士で情報共有



【大切にしていること】

- 子供一人一人を大切に見ること
- どの先生でも安心して話せる関係づくり
- 情報を共有し、見落としを防ぐこと

5, 6年生の「担任ローテーション制」は、5月の個別懇談後から始める予定です。

【ご理解いただきたいこと】

- 担任が一定期間ごとに変わります（2週間をめぐりしてローテーションします）
- これまでより多くの教師が関わります
- 今後、4年生以下も「担任ローテーション制」を取り入れていく予定です

学校のようす

【入学式】

54名の新入生が、大明小学校の仲間入りをしました。少し緊張しながらも、うれしそうな表情が印象的でした。

